ITO JUKU
伊東建築塾
NPOこれからの建築を考える

大三島ライフスタイル研究所

※2017年度より従来の塾生講座を改称しました

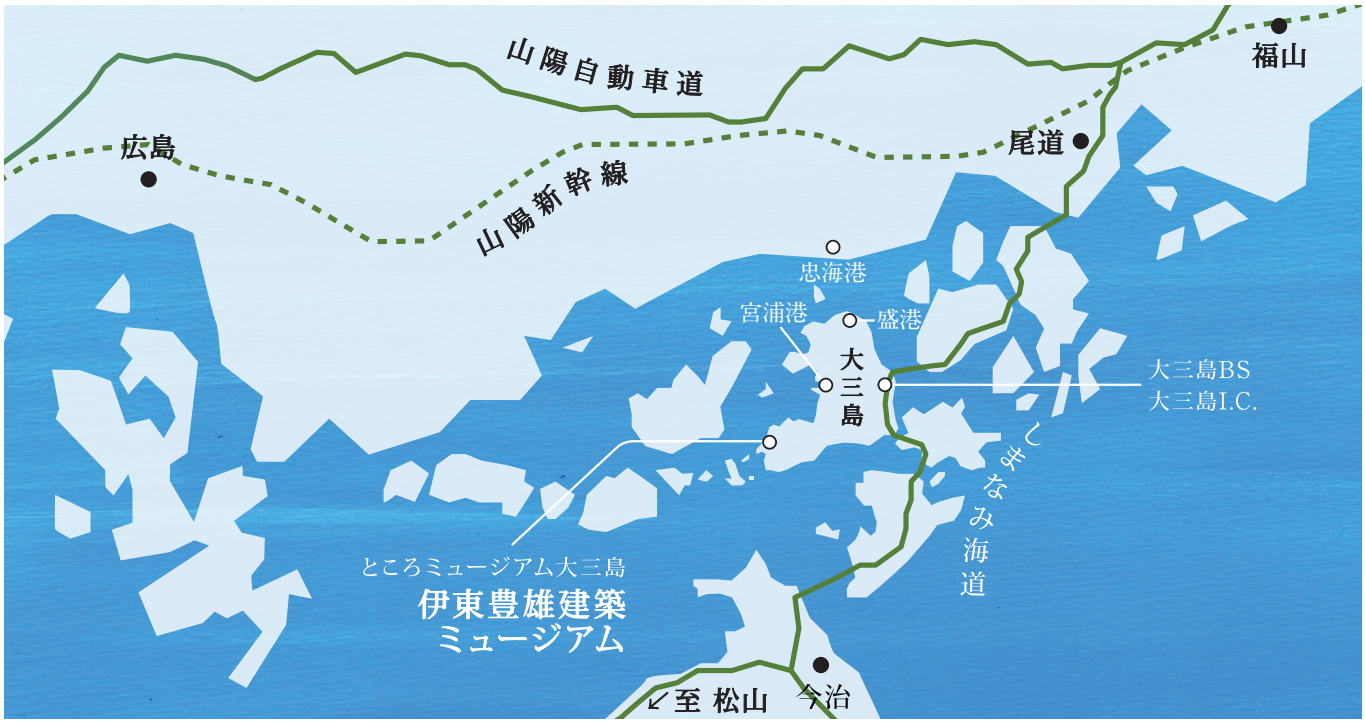
—瀬戸内の島・大三島にこれからのライフスタイルを描き、実現に向けた活動に取り組みます。

「大三島ライフスタイル研究所」は伊東建築塾恵比寿スタジオの塾生による講座のひとつです。

2011年に今治市伊東豊雄建築ミュージアムが開館したことをきっかけに、私たちはここ数年、瀬戸内しまなみ海道に連なる大三島に通い、島の人々と明日の島のあるべき姿を考え続けてきました。空き家を改修し「大三島みんなの家」としての島の人々の交流促進、島で初めてのワインづくり、廃校となった小学校の宿泊施設としての整備など、活動は多岐に亘っています。

現在研究所の塾生たちは、建築家、ビジネスマン、自営業、職人など、さまざまな分野の方たちで構成されており、このような方たちの献身的な活動によって、近年は活動の成果が急速に具体化してきました。今年度はこれまで取り組んできたプロジェクトをさらに発展させたいと考えます。また、公開講座でも具体的な事例を学び、そこで得たことを実際のプロジェクトにも生かしていく所存です。

塾長　伊東豊雄



大三島 ©Yusuke Nishibe

大三島ってどんな島？

大三島は、現在およそ6,000人が暮らす、愛媛県最北端の島です。住民は島の沿岸部に点在する13の集落に分かれて住んでいます。海と山の間のわずかな平地に寄り添うように住む人びとの結束は強く、それぞれの集落には昔から伝わる伝統的なお祭りが今でも継承されています。

大山祇神社と参道

島の中心部には「日本総鎮守」と呼ばれ、古くから多くの信仰を集めてきた大山祇（おおやまづみ）神社が鎮座し、歴史ある「神の島」としても知られます。神社の境内には樹齢2,600年と言われる立派な楠が祀られ、周囲には原生林が立ち並びます。港から神社へと至るその参道も、昔の面影を残していますが、しまなみ海道開通後は人通りが絶え、空き家や空き地が目立つようになりました。

産業と暮らし

温暖な気候に恵まれ、みかんをはじめとした柑橘農業がさかんです。無農薬・有機栽培にこだわるIターン移住の農家さんも多く、栽培されている柑橘は実に30品種以上。秋から春にかけては色鮮やかな果実が景色を彩ります。しかし、近年は高齢化により、耕作放棄地が増えています。

風景

大小の島々に囲まれ、瀬戸内らしい多島美のパノラマが広がります。しまなみ海道はサイクリングの聖地として有名で、この景色を求めて世界中から集まるサイクリストが年々増加しています。特に夕陽の沈む時間の美しさは格別で、悠久の時間が流れているように感じられます。

大山祇神社 ©Manami Takahashi

柑橘畑 ©Yusuke Nishibe

大三島の夕景 ©Kai Nakamura

大三島みんなの家

大三島みんなの家 外観 ©Shuhei Miyahata

大山祇神社参道沿いに建つ旧法務局を改修し、2016年にオープンした大三島みんなの家では、昼はカフェ、夜はワインバルの営業を行っています。また、島の特産品を組み合わせた「イノシシレモン鍋」を通販でお届けしたり、ワインバルでも提供したり、ご好評いただいています。さらに、近年はかつての参道のにぎわいを少しずつ取り戻すかのように、ブリュワリーや飲食店などが徐々に増えてきました。今後も大三島みんなの家を拠点に、参道や地域の活性化につながる活動を行っていきます。

大三島みんなの家 内観 ©Shuhei Miyahata

イノシシレモン鍋

大三島憩の家

大三島憩の家 全景 ©Katsuhiro Aoki

1986年に閉校になった旧宗方小学校。その学び舎は宿として使われ続けていましたが、雨漏りや建物の老朽化の問題から2017年今治市地方創生拠点整備交付金を用い、多くの人の手によって新たに生まれ変わりました。改修工事では、島の高校生や島内外のボランティアが職人さんと一緒になり左官の壁を塗り、木材を塗装し、土間を打ち、瓦を直し、一人ひとりの思いが詰まった温かみのある空間が誕生しました。リニューアル後は、島内カップルの結婚式や子どもたちの夏合宿、地元の人々が集まるワークショップなど、さまざまな活動が行われています。

改修後の洋室 ©Katsuhiro Aoki

大三島みんなのワイナリー

2018年収穫祭 ©Ayumi Yoshino

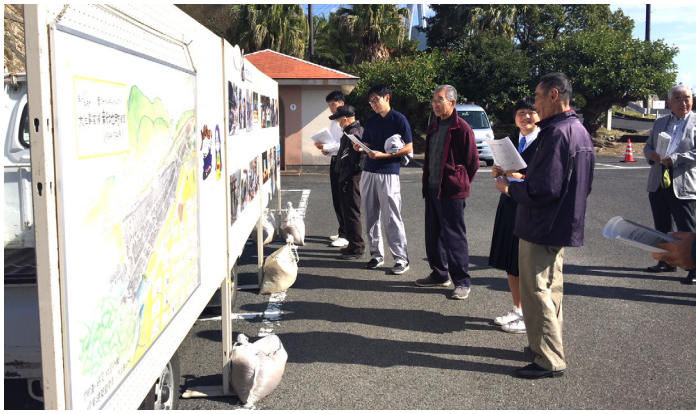
2018年vintage「島紅」「島白」 ©Ayumi Yoshino

2015年に最初の葡萄の苗木を植え、活動を始めた大三島みんなのワイナリー。2018年には新たに1,000本のシャルドネと700本のマスカット・ベリーAの苗木を植え、真夏の少雨により順調に生育が進んでいきました。収穫直前に大雨が続く難しい年ではあったものの、無事に葡萄を収穫することができ、2017年にリリースした赤ワインの「島紅（しまんか）」3種に加え、初となる白ワイン「島白（しましろ）」の計4種のワインが完成しました。また、多くの方々に島のワインをお届けしたく、オンラインストアを始めました。まだまだ若いワイナリーではありますが、今後も大三島で挑戦し続けていきます。

大三島みんなのワイナリー オンラインストア

https://shop.ohmishimawine.com/

今治北高校大三島分校／島デザイン部



今治北高校大三島分校の存続に向けたPR活動

大三島憩の家の改修に携わった今治北高校大三島分校の生徒 ©Katsuhiro Aoki

ここ数年の生徒数減少により、高校の存続が危ぶまれていた今治北高校大三島分校ですが、島の未来のために高校や地域住民と一丸となって、島と高校の魅力を発信し続けてきました。自発的に活動する島民有志たちの努力の甲斐もあって、高校への進学希望者を島内外問わず増やしています。この先も存続し続けるための課題は多くありますが、私たちも引き続き広報活動を中心に支援していきます。

また、高校の特色のある活動として2014年から活動を始めた「島デザイン部」では、新たな部員を募集しています。これまで行ってきた、大三島みんなの家や大三島公民館で使われる家具づくりや宿泊施設・空き家の改修、観光客向けのガイドブック製作などの経験を生かし、今後もさらに活動を広げ、地域の活性化に貢献してきます。

塾長

伊東豊雄(いとう・とよお)
建築家

1941年生まれ。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」「みんなの森 ぎふメディアコスモス」「台中国家歌劇院」など。ヴェネツィア・ビエンナーレ「金獅子賞」、プリツカー建築賞など受賞。

アドバイザー

柳澤 潤(やなぎさわ・じゅん)
建築家

1964年東京都生まれ。1992年東京工業大学大学院修士課程修了、伊東豊雄建築設計事務所入所。2000年コンテンポラリーズを設立。関東学院大学建築・環境学部准教授。

金田充弘(かなだ・みつひろ)
構造エンジニア

1970年東京都生まれ。カリフォルニア大学バークレー校で建築デザインと構造エンジニアリングを学ぶ。大学院修了後、Arupに所属し、ロンドンと東京で設計活動を開始。東京藝術大学准教授。

©Nacasa&Partners

藤江和子(ふじえ・かずこ)
家具デザイナー

藤江和子アトリエ代表。建築家とのコラボレーションを通して建築と人と家具の新しいあり様を提案している。近年は伊東豊雄建築設計事務所との協働プロジェクト多数。多摩美術大学客員教授。

藤森泰司(ふじもり・たいじ)
家具デザイナー

1967年生まれ。1999年藤森泰司アトリエ設立。ハイブランドの製品から、オフィス家具や小中学校の学童家具まで幅広く手がけ、スケールや領域を超えた家具デザインの新しい在り方を目指している。

石橋亜紀(いしばし・あき)
藤森泰司アトリエ

千葉工業大学工学部建築学科修士課程修了。2010年株式会社藤森泰司アトリエ入所。「山梨学院大学国際リベラルアーツ学部棟」、「信濃毎日新聞松本本社」などの家具デザインを担当。

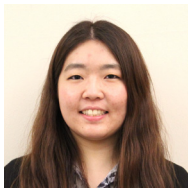
山﨑誠子(やまざき・まさこ)
ランドスケープデザイナー

1961年東京都生まれ。武蔵工業大学(現・東京都市大学)工学部建築学科卒業後、東京農業大学造園学科聴講生として2年間在籍。1992年有限会社GAヤマザキ設立。日本大学短期大学部准教授。

伊東建築塾

古川きくみ(ふるかわ・きくみ)

1984年愛知県生まれ。2009年京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程(環境デザイン)修了。2010年NPO法人アートアンドアーキテクトフェスタを設立。2012年より伊東建築塾事務局長。



庄子利佳(しょうじ・りか)

1993年茨城県生まれ。神奈川大学曽我部・吉岡研究室の活動で大三島に出会う。瀬戸の「象の鼻休憩所」、旧薬舗、小規模作業所「さざなみ園(3373Cafe)」の活動に関わる。2018年より伊東建築塾スタッフ。

山口絵莉一(やまぐち・えりい)

1988年東京都生まれ。京都造形芸術大学卒業。2011年辻村久信デザイン事務所+株式会社ムーンバランス入社。2014年子ども建築塾TAを経てスタッフとなり、「島デザイン部」などを担当。

大三島みんなの家

関戸沙里(せきど・さり)

1979年埼玉県生まれ。旅行で大三島に訪れたことをきっかけに2016年伊東建築塾に入塾。2017年4月より大三島みんなの家に勤務。同年12月より夫と小3の息子も移住。

新近 唯(しんちか・ゆい)

1988年広島県生まれ。リフォーム会社勤務、ゲストハウスの運営を経験後、訪れた大三島に惹かれ移住。2019年より大三島みんなの家のワインバルを運営。

久保木祥子(くぼき・しょうこ)

1980年東京都生まれ。2003年東京藝術大学芸術学科卒業後、ギャラリー勤務。2016年より(株)スマイルズの交換留職制度により、大三島みんなの家に勤務。

伊東豊雄建築設計事務所

東 建男（ひがし・たけお）

1958年千葉県生まれ。1985年早稲田大学大学院修了後、伊東豊雄建築設計事務所に入所し、「せんだいメディアテーク」、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」、「台中国家歌劇院」などを担当。

古林豊彦（こばやし・とよひこ）

1964年兵庫県生まれ。1990 年京都大学工学部建築学科大学院修了。1990年より伊東豊雄建築設計事務所に入所し、「せんだいメディアテーク」、「高雄スタジアム」などを担当。

木平岳彦（きひら・たけひこ）
建築家

1972年東京都生まれ。2004年木平岳彦建築事務所設立（2017年に木平と近藤建築事務所に改組改名）。2014年より伊東建築塾に参加し、大三島みんなの家や大三島憩の家の改修設計を手がける。

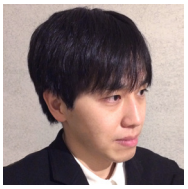
©Kai Nakamura

近藤奈々子（こんどう・ななこ）
建築家

1983年東京都生まれ。武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒業。2006年より伊東豊雄建築設計事務所にて家具、プロダクト、建築に携わる。2017年独立し、木平と近藤建築事務所を開設。

ジョイス・ラム

1989年香港生まれ。ロンドン大学東洋アフリカ研究学院日本語・経済学科卒業。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了。2015年に入塾し、2016-2018年に伊東建築塾スタッフとして勤務。



石井 海（いしい・かい）
デザイナー

1980年兵庫県生まれ。1999年筑波大学芸術専門学群生産デザインコース入学。2003年株式会社GKダイナミックス入社。2006年YAMAHA MOTOR ASIAN CENTER Co., LTDに出向。2013年EMPTINESS設立。

青木勝洋（あおき・かつひろ）
写真家

1981年福島県生まれ。武蔵野美術大学空間デザイン学科卒業。建築、インテリアを中心に写真制作を行う。2017年よりプロジェクトメンバーとなり、大三島の建築やプロジェクトの撮影を担当。

監物 拓（けんもつ・たく）

1981年札幌市生まれ。2017年よりプロジェクトメンバーとして参加。一級建築士、JSAワインエキスパート、横濱ワイナリーオフィシャルサポーターとして、フリーに活動中。

プロジェクトメンバー

吉岡寛之（よしおか・ひろゆき）
建築家

1976年東京都生まれ。日本大学大学院修士課程修了。みかんぐみに6年間勤務後、大学時代の恩師・高宮眞介氏に再び師事し、計画・設計工房を経て、2011年独立。2014年より神奈川大学建築学科特別助教。

高野洋平（たかの・ようへい）
建築家

1979年名古屋市生まれ。2003年千葉大学大学院修了。佐藤総合計画を経て、2013年より森田祥子とMARU。architectureを共同主宰。2016年千葉大学大学院工学研究科博士後期課程修了（工学博士）。

丸山智也（まるやま・ともや）
グラフィックデザイナー

1979年山梨県甲府市生まれ。2004年廣村デザイン事務所入社。2012年MARUYAMA DESIGNを設立し、2018年に法人化。2014年から伊東豊雄建築ミュージアムの展覧会のグラフィックデザインを手がける。

善養寺圭吾（ぜんようじ・けいご）
一級建築士

1957年群馬県生まれ。千葉大学工学部建築学科卒業。新宿区役所勤務後、92年栃木県に移住。2003年ZEN住まい工房設立。2018年より大三島へ移住し、さまざまな活動に参加している。

中野浩介（なかの・こうすけ）
コンサルタント

中野裕子（なかの・ゆうこ）
デザイナー

ともに1971年生まれ、神奈川県藤沢市で育つ。趣味は旅。妻はデザイナーとして、日本を代表するキャラクターのデザイン業務に従事。夫はコンサルタントとして地域振興や産業活性化等を手掛ける。将来的には夫婦のスキルを併せ、「デザインxコンサルxチイキ」事業で地域に貢献することを目指す。2016年から伊東建築塾に参加し、島の自然農法グループ「あしたも」プロジェクトなど、大三島のブランディングに取り組む。

高橋直彦（たかはし・なおひこ）
左官職人

1971年横浜市生まれ。関東学院大学工学部建設工学科卒業。家業の左官に従事。2017年より伊東建築塾に参加し、大三島ふるさと憩の家リニューアル工事の左官を大三島出身の父と共に担当。

大海未那子（おおがい・みなこ）

Central Saint Martins卒業。現在IT企業のブランディング担当。部門横断的なクリエイティブ職のプロジェクトPLUS+の企画室長。様々な企画やプロジェクトに新しい見方や体験の企画立案を専門。